

Perfect Guide to Japanese Sword

健全なる「大和魂」、国宝・包永

幕末の「四谷正宗」・清磨の最高傑作

明治のサムライ実業家
秘蔵のコレクション



～名刀でわかる・名刀で知る～

2017年

1/21(土) → 3/20(月祝)

休館日：毎週月曜日(ただし3月20日は開館)

開館時間：午前10時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

入館料：一般1000円、大高生700円(20名以上団体割引)

中学生以下無料

静嘉堂文庫美術館

SEIKADO BUNKO ART MUSEUM

〒157-0076 東京都世田谷区岡本2-23-1

☎03-5777-8600 (ハローダイヤル)

<http://www.seikado.or.jp>

国宝 手搦包永太刀
鎌倉時代(13世紀)

重美 源清磨刀
江戸時代・弘化4年(1847)

信長より拝領の
朱鞘の太刀！「滝川高綱」

重文古備前高綱太刀(号「滝川高綱」) 鎌倉時代(12、13世紀)
附 朱塗鞘打刀拵 桃山時代(16世紀) ※表面も同じ



「愛」の武将・直江兼続へ
贈られた秀吉の形見

伝 長船兼光刀(大磨上げ無銘号) 後家兼光(南北朝時代(14世紀))
附 芦雁時絵鞘打刀拵 明治時代(19世紀)



日置豊前守所持・加賀藩主
前田家伝来、名物「日置安吉」

重文名物 日置安吉短刀 南北朝時代(14世紀)



所蔵の国宝・重文刀剣9件全てが揃い踏み！

武士の魂、日本刀は、千年におよぶ歴史のなかで、武器として武人を鼓舞し、美術品としても鑑賞されてきました。近年ブームに沸きながら、しかし道具としても美術品としても身近ではない日本刀。「全部同じに見える」「どこを見ればいいのか分からない」「専門用語が難しすぎる」といったさまざまな疑問やお悩みを徹底的に解決します！

日本刀の主な見どころ — 姿・刃文・鍛え肌はもんの鑑賞や、刀剣の歴史や産地、戦国武将が所持した刀の逸話など、国宝の「手搔包永太刀」をはじめとする選りすぐりの名刀約30振から、めくるめく刀剣の魅力に迫ります。

- 【アクセス】
- 東急大井町線/田園都市線(地下鉄半蔵門線直通)「二子玉川」駅下車、駅前④番バス乗場より東急コーチバス「玉31・32系統」で「静嘉堂文庫」下車、徒歩5分。または二子玉川駅からのタクシーで約10分。
 - 小田急線「成城学園前」駅下車、南口バス乗場から二子玉川駅行きバスで「吉沢」下車、徒歩10分。
 - 駐車場が美術館前に約20台あります。美術館入館のお客様は無料ご利用いただけます。

静嘉堂文庫美術館
SEIKADO BUNKO ART MUSEUM
〒157-0076 東京都世田谷区岡本2-23-1
☎03-5777-8600 (ハローダイヤル)
http://www.seikado.or.jp



重文平治物語絵巻 信西巻部分
鎌倉時代(13世紀)
※会期中展示替えがあります。



重要文化財
「平治物語絵巻 信西巻」を
3期に分け特別公開！

- ◆ 講演会「静嘉堂名刀ものがたり ウラおもて」
2月19日(日) 午後1時30分から 地階講堂にて 定員120名
※当日開館時より整理券配布(お一人様、一枚限定) 午後1時15分開場 整理券の番号順にお入り頂きます
対談:吉川永一氏(日本刀剣保存会 幹事・宮内庁侍従職御物御剣掛)
山田正樹(本展担当学芸員)
宮内庁の御剣や静嘉堂の刀剣類を永年手入れし続けてきた吉川氏に、研師ならではのさまざまなお話をうかがいます。
- ◆ 学芸員による列品解説
午前11時から 2月11日(土・祝)、3月11日(土) 午後2時から 1月26日(木)、2月23日(木)

次回展覧会
「挿絵本の楽しみ」(仮)
2017年4月15日(土)～5月28日(日)